

戦争の惨禍忘れず 憲法を活かす市政を

広島原爆投下の8月6日8時15分、東市議は被爆者会の方々と東山の岡山市原爆被爆死没者供養塔に献花をしました。東山中学の生徒さんが事前に掃除を行い、この日は千羽鶴を折って参加しました。



献花する東市議(8/6)

長崎被爆の8月9日、市役所南の大供公園で第30回のピースバルーンが行われました。東市議は子どもたちと、平和のメッセージをつけた風船をいっせいに空に放ちました。

戦争の惨禍を忘れず、過去の反省の上に生まれた憲法を守り活かすことが、戦争のない世界をつくり

ます。いま、その願いが次の世代に受け継がれている



ピースバルーン(8/9)

ます。

岡山市でも憲法を活かし、住民の権利とくらしを守る政治が求められています。

ます。

安倍総理は秋の臨時国会に憲法を変える自民党案を出そうとしています。自衛隊の違憲論争に終止符をうつためと言います。しかし自衛隊のために自衛隊を置く憲法に書き込めば、集団的自衛権の行使に歯止めがなくなり、海外で戦争する国に変わってしまいます。改憲を許してはいけません。

ひとこと

台風20号接近の際、市の市民向け土のうをもらいに行きました。2歳7ヶ月の娘は本物のスコップデビュー。「おもい」と言いながら、土のう袋に土を入れていました。(東つよし)



あずま
東
つよし

つよしの

奔西走



用水路の農業用ポンプは、能力が高くない上に、流す先の川の水位が一定の

ています。

7月豪雨を教訓に 排水対策を

7月豪雨で浸水した笹ヶ瀬川流域で、「ポンプが止まってから水が上がってきた」という声が出されています。

高さになると排水できない構造なのです。

笹ヶ瀬川や倉敷川流域の浸水を防ぐには、堤防のかさ上げや浚せつ、雨水排水用のポンプ設置や児島湖沿岸の強化が必要です。

東市議は県に対し河川整備を求めるとともに、市議会建設委員会で雨水排水ポンプ設置地域の拡大を提案しています。